



# 2021年3月期 決算説明(補訂版) ※ P16修正

---

2021年5月14日

JASDAQ:6467

**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

代表取締役社長執行役員  
伊藤 直紀

## 業績状況

### 【売上高】

10,823百万円 (前年比  $\Delta 26.7\%$ )

### 【経常利益】

$\Delta 173$ 百万円 (前年743百万円の利益)

### 【親会社株主に帰属する当期純利益】

$\Delta 170$ 百万円 (前年477百万円の利益)

※百万円未満切り捨て

## 背景

- 下半期から回復傾向も、上半期の自動車産業低迷の影響を受け、前年比大幅な減収減益。
- フィルタ事業は、好調が続き前年比増収増益。
- 下半期はグループで黒字化を達成。

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 決算概要
- 3) 22/3期 計画
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

## ネットシェイプ事業

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート



高精度・省資源・高強度

## アセンブリ事業

自動車の燃費向上・排ガス削減に役立つキーパーツを組立て



高品質・自動化・2極生産

## フィルタ事業

過酷な条件で使える金属フィルターを様々な産業に提供



高強度・耐熱・耐酸性

エンジン関連部品

トランスミッション部品



駆動関連用部品

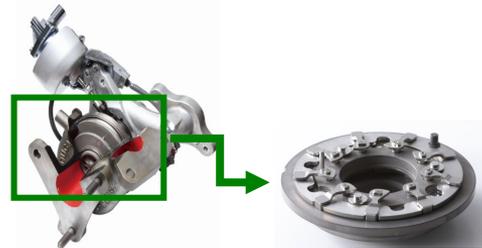
カーエアコン用部品



自動車関連



ターボチャージャー部品の組立て



この部分を組立てています

航空宇宙

積層焼結金網フィルター



食品



医薬品



- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 決算概要**
- 3) 22/3期 計画
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

# 2) 21/3期 決算概要 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	20年3月期 実績	21年3月期 計画	21年3月期 実績	対前期 増減率
売上高	14,774	10,400	10,823	△26.7%
売上総利益	2,948	1,410	1,609	△45.4%
販売管理費	2,235	1,990	1,949	△12.8%
営業利益	712	△580	△339	-
営業外損益	△30	△205	△165	-
経常利益	743	△375	△173	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	477	△300	△170	-

※百万円未満切り捨て

単位:円

為替レート	20年3月 期 実績	21年3月 期 計画	21年3月 期 実績
米ドル	109.55	108.00	103.52
タイバーツ	3.63	3.40	3.44

## 概要

### ■売上高

上半期の自動車産業低迷の影響を受け、ネットシェイプ事業とアッセンブリ事業が大幅減。

### ■売上総利益

売上高減少に伴い減少。

### ■販売管理費

各種コストの抑制。

### ■営業利益

売上高減少をカバーできず、損失を計上。

単位:百万円

	20年 3月期 通期実績	21年 3月期 通期計画	21年 3月期 通期実績		
			増減率	計画比	
ネットシェイプ 事業	7,231	4,900	5,020	△30.6%	102.5%
アッセンブリ 事業	5,272	3,240	3,494	△33.7%	107.8%
フィルタ 事業	2,270	2,260	2,308	1.7%	102.1%
連結計	14,774	10,400	10,823	△26.7%	104.1%

## 概要

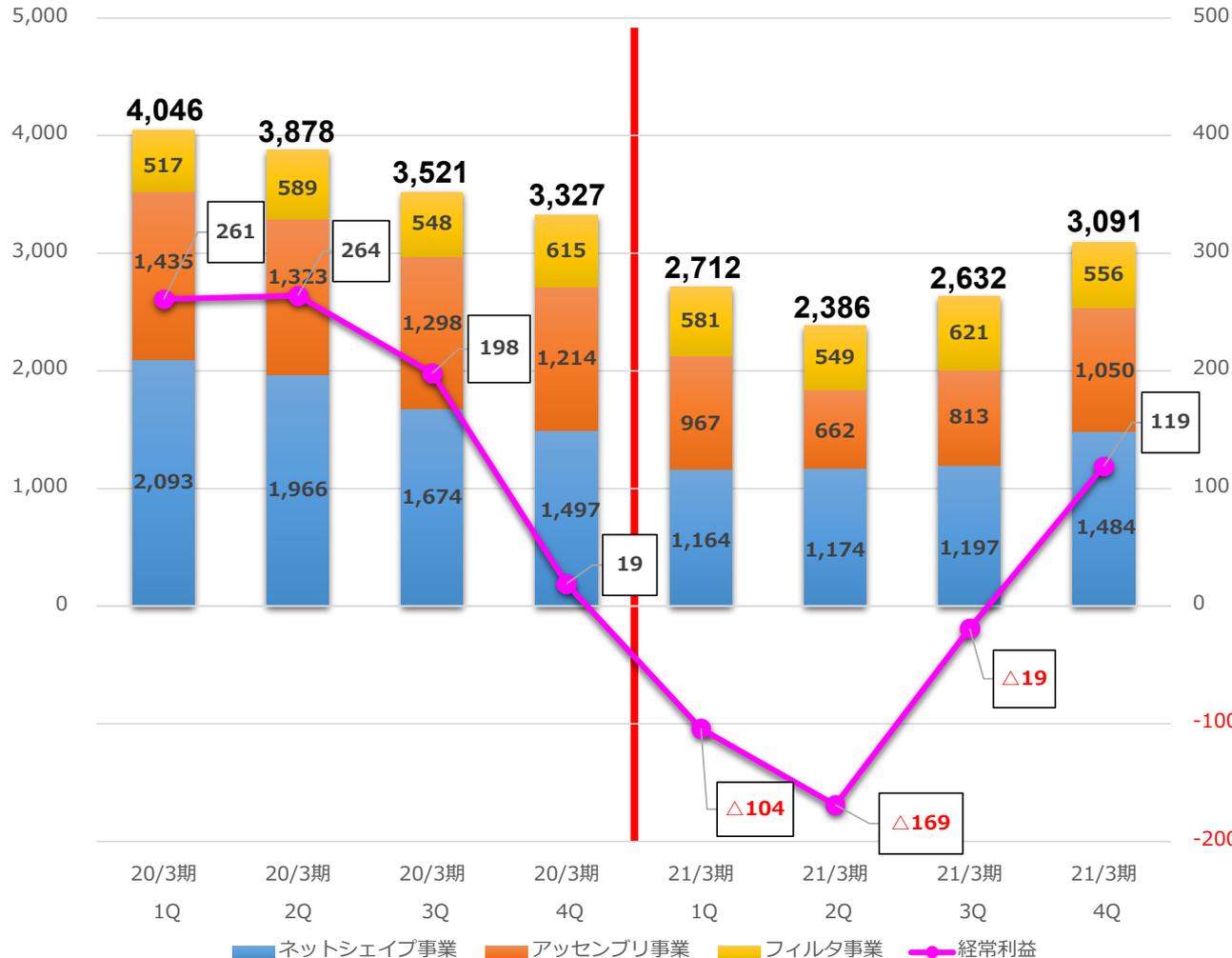
- ネットシェイプ事業**  
 新型コロナウイルス感染症拡大が自動車産業へ影響を与え大きく減少。
- アッセンブリ事業**  
 ネットシェイプ事業と同じく自動車産業の低迷により大きく減少。
- フィルタ事業**  
 堅調な足どりを維持し、前年比増加。

※百万円未満切り捨て

# 2) 21/3期 決算概要 - 四半期別業績推移 -

売上高(左軸)  
棒グラフ  
単位:百万円

経常利益(右軸)  
折れ線グラフ  
単位:百万円



※百万円未満切り捨て

## 概要

■ 1Q-3Qはネットシェイプ事業、アッセンブリ事業ともに落ち込み、4Qから回復。

■ フィルタ事業の売上高は、前年と同水準で推移し、好調を維持。

■ 4Qは全事業が黒字に転じ、経常利益を計上。

## 《国内外別売上高・経常利益》

単位：百万円

	20/3 実績	21/3 実績	対前期 増減率
国内	4,666	3,353	△28.1%
海外	2,565	1,666	△35.0%
売上高計	7,231	5,020	△30.6%
経常利益 (経常利益率)	295	△344	-
	4.1%	△6.9%	-

※百万円未満切り捨て

## 《ネットシェイプ事業売上高推移》

単位：百万円



## 概要

### 【売上高増減要因】

自動車産業の低迷により、売上高が大幅減少。4Qから金型部門の好転により、前期4Qと同水準に回復。

### 【経常利益増減要因】

4Qから好調に転じたが、1Q-3Q業績低迷の影響が大きく、経常損失を計上。

## 《国内外別売上高・経常利益》

単位：百万円

	20/3 実績	21/3 実績	対前期 増減率
国内	2,789	2,024	△27.4%
海外	2,483	1,469	△40.8%
売上高計	5,272	3,494	△33.7%
経常利益 (経常利益率)	137	△158	-
	2.6%	△4.5%	-

※百万円未満切り捨て

## 《アッセンブリ事業売上高推移》



## 概要

### 【売上高増減要因】

自動車産業の低迷により特に上半期売上高が低水準で推移したものの、4Qは回復の兆し。

### 【経常利益増減要因】

4Qから上向きとなるも1Q-3Q業績低迷の影響が大きく、経常損失を計上。

## 《国内外別売上高・経常利益》

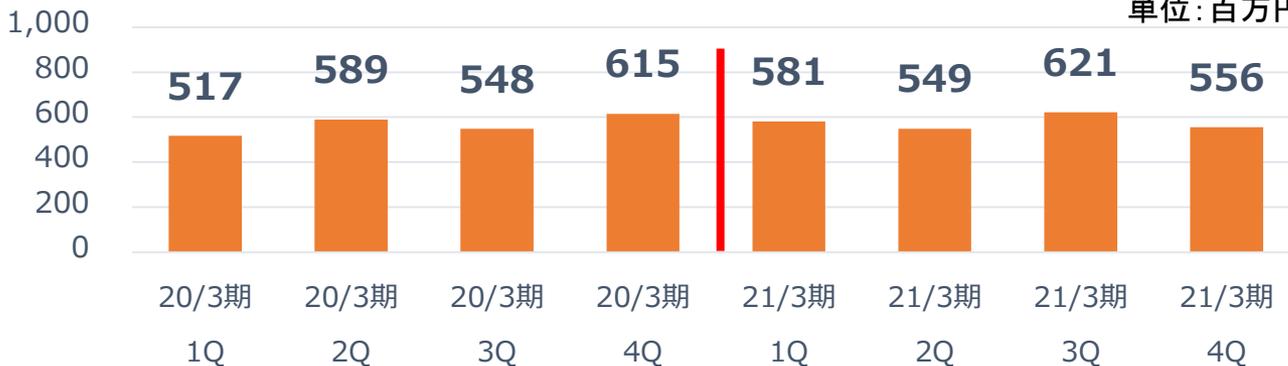
単位：百万円

	20/3 実績	21/3 実績	対前期 増減率
国内	1,773	1,660	△6.4%
海外	497	648	30.3%
売上高計	2,270	2,308	1.7%
経常利益 (経常利益率)	310	328	5.8%
	13.7%	14.2%	-

※百万円未満切り捨て

## 《フィルタ事業売上高推移》

単位：百万円



## 概要

**【売上高増減要因】**  
自動車産業向け以外の用途を主としており、他の二事業と異なり、年間を通じて好調に推移。

**【経常利益増減要因】**  
前年並みの好調を維持し、増収増益を実現。

## 連結貸借対照表

20年3月期 期末  
資産合計  
16,384

単位:百万円



21年3月期 期末  
資産合計  
15,656(△727)

単位:百万円



## 概要

### ■流動資産

現金及び預金の減少  
(△232百万円)  
売上債権の減少  
(△242百万円)

### ■借入金

20年3月期期末  
1,503百万円  
21年3月期期末  
1,361百万円

※百万円未満切り捨て・( )内の数値は、20/3との増減表記 + = 増加、△ = 減少

## 2) 21/3期 決算概要 -CFの状況-

単位: 百万円

	20年3月期 実績	21年3月期 実績	増減額
営業活動によるCF	2,263	781	△1,482
投資活動によるCF	△924	△650	273
財務活動によるCF	△755	△260	495
現金及び現金同等物増減額	678	△223	△901
現金及び現金同等物の期首残高	2,689	3,367	678
現金及び現金同等物の期末残高	3,367	3,144	△223
<b>FCF</b>	<b>1,339</b>	<b>130</b>	<b>△1,209</b>

※百万円未満切り捨て

### 概要

■ 営業活動によるCF  
(△1,482百万円)

#### の主な内訳

税金等調整前当期純利益  
(△907百万円)

前期 735百万円

当期 △172百万円

売上債権の増減額  
(△1,394百万円)

前期 1,592百万円

当期 197百万円

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 決算概要
- 3) 22/3期 計画**
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

## 計画

### 【売上高】

13,600百万円(前期比 25.7%増)

### 【経常利益】

430百万円(前期**173百万円**の損失)

### 【親会社株主に帰属する当期純利益】

290百万円(前期**170百万円**の損失)

※百万円未満切り捨て

## 背景

- 米中対立の影響に加え、新型コロナウイルス感染収束が見通せない中、先行き不透明な状況。
- 一方、自動車産業は、回復の動きを見せ、今期と比較し増加すると予想。
- 今期大幅に減少したネットシェイプ事業、アッセンブリ事業が回復し、全体で増益になる見込み。

# 3) 22/3期 計画 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

	21年3月期 実績	22年3月期 計画	増減率
売上高	10,823	13,600	25.7%
売上総利益	1,609	2,670	65.9%
販売管理費	1,949	2,270	16.5%
営業利益	△339	400	-
営業外損益	△165	△30	-
経常利益	△173	430	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△170	290	-

※百万円未満切り捨て

単位:円

	21年3月期 実績	22年3月期 計画
為替レート		
米ドル	103.52	104.00※1
タイバーツ	3.44	3.40

※1 2022年度米ドル為替レート計画誤記を修正(5/14)

## 概要

### ■売上高

自動車産業に関連の深いネットシェイプ事業、アッセンブリ事業が回復傾向となり、前年対比で増収を見込む。

### ■経常利益

ネットシェイプ事業とアッセンブリ事業の回復により増益を見込む。

# 3) 22/3期 計画 -事業別売上高の状況-

単位:百万円

	21年3月期 実績	22年3月期 計画	増減率
ネットシェイプ 事業	5,020	6,900	37.4%
アッセンブリ 事業	3,494	4,500	28.8%
フィルタ 事業	2,308	2,200	△4.7%
連結計	10,823	13,600	25.7%

※百万円未満切り捨て。

## 概要

■ネットシェイプ事業  
自動車産業全体とともに、回復する見込み。

■アッセンブリ事業  
ネットシェイプ事業と同様、回復する見込み。

■フィルタ事業  
旺盛な需要の落ち着きにより、減収の見込み。

単位:百万円

	17/3 実績	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	21/3 実績	22/3 計画
設備投資額	966	434	771	512	466	1,180
減価償却費	793	860	853	831	759	840

※百万円未満切り捨て

## ■主な投資案件

- 新基幹システムの導入。
- ニチダイフィルタにおけるプレス機能付き焼結炉の新設。
- ニチダイタイランドにおける生産ラインの増設。

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 決算概要
- 3) 22/3期 計画
- 4) 配当について**
- 5) 中期経営戦略

## 基本方針

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。また、経営環境や業績動向、配当性向などの諸指標も考慮しながら配当額を決めております。

	第2四半期	期 末	年 間
	円銭	円銭	円銭
20年3月期 (実績)	10.00	10.00	20.00
21年3月期 (期末:予想)	—	4.00	4.00
22年3月期 (予 想)	5.00	5.00	10.00

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要
- 3) 21/3期 通期見通し
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略**

# 5) 中期経営戦略

2019年3月期以降、下記の挑戦、戦略をもとに、中期経営戦略を推進。

基本戦略

## 挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

### 他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

### さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取組

## 挑戦2 次世代への挑戦

### 海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

### 新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

## 挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

### 自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

### 働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革

## 挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

- 他社の追随を許さない技術力の構築
- さらなるQDCの改善

【取り組み】

### ■ 国内受注の維持、拡大に対する施策

営業技術部を設立し、技術提案力を強化

### ■ シナジーの創出

精密鍛造技術を活かしたターボチャージャー部品向け  
構成部品の確立



## 挑戦2 次世代への挑戦

- 海外事業のさらなる進化
- 新規事業の立ち上げ

【  
取  
り  
組  
み  
】

### ■ インド代理店での営業活動

昨年インド販売代理店と提携し、海外活動を強化

### ■ EV向けスクロール鍛造品の開発

需要増加のスクロール鍛造品の開発を推進

### ■ 新事業開発部の発足

圧延と鍛造を組合わせた新工法などの開発強化



スクロール鍛造品



圧延と鍛造を組み合わせた新工法

## 挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

- 自己実現を果たせる環境
- 働きやすさの充実

【  
取  
組  
み  
】

### ■ 制度・風土改革

人事制度改革の取り組み開始

### ■ コロナ禍を踏まえた働き方改革

ITツール等を活用した働き方の効率化・充実化



本日は、ありがとうございました。

# 株式会社 ニチダイ

## NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail: [konno@nichidai.co.jp](mailto:konno@nichidai.co.jp)

# 補足資料

単位:百万円

科目	20年3月期 実績	比率	21年3月期 実績	比率
売上高	14,774	100.0%	10,823	100.0%
材料費	4,824	32.7%	3,494	32.2%
製品仕入	735	5.0%	576	5.3%
外注加工費	1,314	8.9%	1,005	9.2%
補助材料費	439	3.0%	351	3.2%
人件費	2,716	18.5%	2,434	22.4%
減価償却費	717	4.9%	653	6.0%
在庫増減	△355	△2.4%	△80	△0.7%
その他	722	4.9%	616	5.7%
売上原価	11,825	80.0%	9,213	85.1%
売上総利益	2,948	20.0%	1,609	14.8%

※百万円未満切り捨て

単位:百万円

科目	20年3月期 実績	比率	21年3月期 実績	比率
売上高	14,774	100.0%	10,823	100%
荷造・運賃	175	1.2%	141	1.3%
旅費交通費	118	0.8%	43	0.4%
人件費	1,116	7.6%	1,041	9.6%
減価償却費	116	0.8%	107	0.9%
賃借料	60	0.4%	63	0.5%
その他	648	4.4%	551	5.1%
販売管理費	2,235	15.1%	1,949	18.0%

※百万円未満切り捨て

ポイント	取り組み	主な進捗状況
<b>挑戦1</b> 既存事業 強靱化への 挑戦	<u>他社の追随を許さない技術力の構築</u> ■ニッチトップへの取り組み ■シナジーを活用した独自技術の進化と構築 ..... <u>さらなるQDCの改善</u> ■各種KPIの達成 ■原価低減の着実な取組	✓ ネットシェイプ事業:より積極的な技術開発及びトータルエンジニアリング力を活用した受注活動により、金型及び精密鍛造品の新規ユーザー獲得を推進。(営業技術部の活動開始など) ✓ アッセンブリ事業:精密鍛造技術を活かしたターボチャージャー部品向け構成部品の安定供給に取り組む ✓ フィルタ事業:既存顧客内の深耕策が伸長 ..... ✓ アッセンブリ事業:新規設備ライン導入。生産効率化策を推進
<b>挑戦2</b> 次世代への 挑戦	<u>海外事業のさらなる進化</u> ■海外比率拡大 ■さらなる海外拠点の強化 ..... <u>新規事業の立ち上げ</u> ■次世代自動車への対応 ■社内シーズの活用	✓ ネットシェイプ事業の強みを活用した、海外顧客への対応及び拡販が進展。 ✓ インド販売代理店と提携 ..... ✓ 新事業開発部の発足(2021年4月)。より全社的な開発活動を開始 ✓ EV向けスクロール鍛造品の開発・推進 ✓ ネットシェイプ事業、フィルタ事業とも次世代自動車製品に関する需要に向けた開発
<b>挑戦3</b> 働きがいの ある職場への 挑戦	<u>自己実現を果たせる環境</u> ■挑戦を歓迎する仕組み ■成長を描ける仕組み ..... <u>働きやすさの充実</u> ■働き方改革	✓ 人事制度改革への取り組みを開始 ✓ 教育訓練制度のさらなる充実化が課題 ..... ✓ IT技術活用などの施策を検討中 ✓ 時間生産性を高める方策を検討中